

高齢社会における商品開発

- 介護関連分野のタオル商品開発研究 (H19~20) -

愛媛県産業技術研究所 繊維産業技術センター 主任研究員 小林 祐子

多様なニーズがあるシルバー市場の中、使用者本人が商品に対する満足感を得ることで、リピート商品として定着することを目的としたタオル製品の試作開発を行いました。

1. ボディタオルの試作

介護者の扱いやすいサイズを検討すること、また、被介護者の肌への配慮から、「泡立ち」をキーワードに肌にやさしい生地であることを検討し、ボディタオルの試作を行いました。更に、介護事業所において、モニタリングを繰り返すことにより、完成度を高めました。

素 材	パイル糸	綿糸 80/2
	地経糸	綿糸 40/2
	緯糸 A	試験糸 A~E
	緯糸 B	綿糸 30/2
箆	48羽/寸	
打ち込み	52本 / 2.54cm	
箆引き込み	G P G P	

表1 泡立ち比較試験用試作タオル製織条件

A	試験糸 A	綿糸 20/1
B	試験糸 B	綿糸 30/1
C	試験糸 C	綿ループ糸
D	試験糸 D	ポリエステルスパンループ糸
E	試験糸 E	ウーリーポリエステルループ糸
F	市販ナイロントオル	

表2 泡立ち比較試験用試料



2. ホームウェアの試作

パジャマなどの上に羽織ることを目的としたホームウェアの試作を行いました。ガウンよりも活動的で、カーディガンよりも羽織ることが容易にできる形態を検討しました。また、4重ガーゼの生地にするすることで、多色表現を織り柄として表現し、デザイン面でも華やかさを持たせました。



「介護」商品という直接的な開発ではなく、一般消費者と同じ視点で商品が選択できるように「肌にやさしい」「あつかいやすい」など、さりげなくサポートできる配慮を施した商品開発が必要であることが分かりました。

本研究は、介護関連分野のタオル商品開発研究により実施しました。